

この度、第 121 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

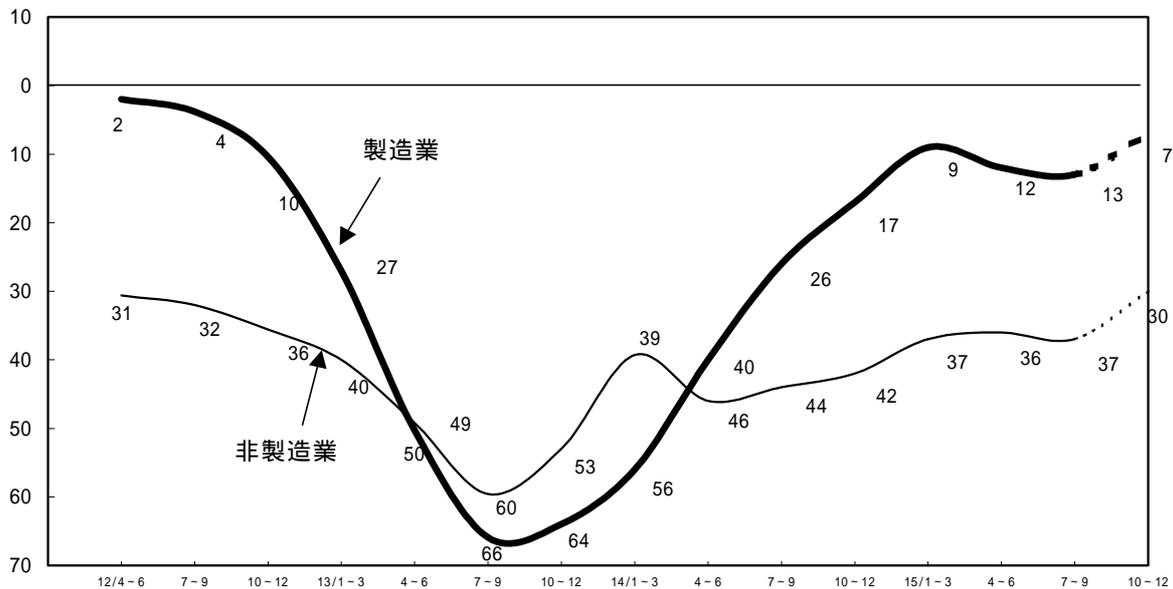
企業の景況感は、製造業、非製造業ともに横ばいとなっている。

今期（15 年 7～9 月期）の業況判断 D.I. 値は、製造業が 13、非製造業が 37 となった。前期（15 年 4～6 月期）に比べ、製造業、非製造業ともに 1 ポイント悪化した。

来期（15 年 10～12 月期）は、製造業が 7 と今期に比べ 6 ポイント、非製造業は 30 と 7 ポイントそれぞれ改善する見通しである。

生産活動や経済指標の一部に持ち直しの動きがみられるものの、回復に向けた動きに力強さはみられず、また先行きに対する不透明感も依然として払拭されていないことから、企業の景況感の改善ペースは、当面緩やかなものにとどまるとみられる。

業況判断 D.I. 値



15/7～9は見込み、15/10～12は見通し

2. 概要

(1) 製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(15年7~9月期)13と前期実績を1ポイント下回った。業種別にみると、紙・パルプ、化学品など6業種が改善したものの、繊維品、一般機械など7業種が悪化した。

来期(15年10~12月期)は今期見込みを6ポイント上回る見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは7と前期実績を1ポイント下回った。業種別にみると、紙・パルプ、飲・食料品など7業種で改善したものの、窯業・土石、一般機械など7業種で悪化した。また、水準D.I.値の今期見込みは4と前期実績を6ポイント下回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは71%と前期実績を1ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは20と前期実績を2ポイント下回った。来期の実施企業割合は今期見込みを下回る見通しであるものの、投資額D.I.値は今期見込みを上回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは11と前期実績を3ポイント上回った。一方、適正水準比D.I.値の今期見込みは5と前期実績を4ポイント下回った。業種別にみると、飲・食料品などの業種で過剰感が弱まっている。

(2) 非製造業

業況

業況判断D.I.値は、今期(15年7~9月期)37と前期実績を1ポイント下回った。業種別にみると、サービス、建設が改善したものの、運輸、小売、卸売は悪化した。

来期(15年10~12月期)は30とやや改善する見通しである。

経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは33と前期実績を7ポイント下回った。また、水準D.I.値の今期見込みは11と前期実績を5ポイント下回った。業種別にみると、建設を除きすべての業種で前期実績を下回った。

設備投資

実施企業割合の今期見込みは57%と前期実績を3ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは38と前期実績を2ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは15と前期実績を3ポイント上回った。一方、適正水準比D.I.値の今期見込みは7と前期実績を3ポイント下回った。

3. 調査結果

(1) 製造業

今期実績見込み(15年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	13	前期比	-1	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	7	前期比	-1	ポイント	
	(水準D.I.値)	4	前期比	-6	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	71 %	前期比	-1	ポイント	
	(投資額D.I.値)	20	前期比	-2	ポイント	
・雇用	(増減D.I.値)	11	前期比	+	3	ポイント
	(適正水準D.I.値)	5	前期比	-4	ポイント	

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	7	前期比	+	6	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	1	前期比	+	6	ポイント
	(水準D.I.値)	21	前期比	+	17	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	68 %	前期比		-3	ポイント
	(投資額D.I.値)	22	前期比	+	2	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	13	前期比		-2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	3	前期比		-2	ポイント

(2) 非製造業

今期実績見込み(15年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	37	前期比	-1	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	33	前期比	-7	ポイント	
	(水準D.I.値)	11	前期比	-5	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	57 %	前期比	+	3	ポイント
	(投資額D.I.値)	38	前期比	+	2	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	15	前期比	+	3	ポイント
	(適正水準D.I.値)	7	前期比	-3	ポイント	

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	30	前期比	+	7	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	21	前期比	+	12	ポイント
	(水準D.I.値)	7	前期比	+	18	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	48 %	前期比		-9	ポイント
	(投資額D.I.値)	28	前期比		-10	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	16	前期比		-1	ポイント
	(適正水準D.I.値)	1	前期比		-6	ポイント